

# 日中省エネルギー・環境総合フォーラム

## 中日节能环保综合论坛

### 全体会議



両国閣僚講演

### 分科会



政策・制度・技術の紹介  
テーマ別交流

### 案件形成



協力プロジェクト披露

### 情報発信



技術PR資料展示・配布  
オンサイトマッチング

日中省エネルギー・環境総合フォーラムは、日中間の省エネルギー・環境協力のプラットフォームとして、日本側は経済産業省、一般財団法人日中経済協会が、中国側は国家発展改革委員会、商務部が主催者となり、毎年日本と中国において交互に開催し、本分野の交流を代表する活動として対中省エネ・環境ビジネス推進の一翼を担っています。

第10回フォーラムは2016年11月26日に北京において、日本側から世耕弘成経済産業大臣、宗岡正二日中経済協会会長、中国側から徐紹史国家発展改革委員会主任、高燕商務部副部長の出席のもと、開催しました。日中官民関係者合わせて約800人（日本側約300人、中国側約500人）の参加を得て、今や世界第2、第3の経済大国となった両国が省エネ・環境保護に協働していく必要性を再確認し、また28件の協力プロジェクト文書を交換するなど、成功裏に終了しました。

中日节能环保综合论坛如今成为中日节能环保领域具有代表性的合作平台，日方由经济产业省及日中经济协会，中方由国家发展和改革委员会及商务部主办，每年在日本和中国轮流举办，推动两国节能环保商务合作。

第10届论坛于2016年11月26日在北京召开，日方世耕弘成经济产业大臣、日中经济协会宗冈正二会长，中方国家发展和改革委员会徐绍史主任、张勇副主任、商务部高燕副部长及两国各界大约800名（日方约300名、中方约500名）人士出席。双方就如今已成为世界第二、第三经济体的两国合作推动节能环保的必要性达成了共识，会上还有28项节能环保领域的合作协议文本在双方领导人见证下得以交换，论坛取得了圆满成功。

#### 主催

経済産業省  
一般財団法人日中経済協会

中華人民共和国国家発展改革委員会  
中華人民共和国商務部  
中華人民共和国駐日本国大使館（日本開催時）

■日中省エネルギー・環境総合フォーラム開催実績

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
					
主な成果	両国の現状や直面する課題、日中省エネ・環境協力の意義について共通認識を醸成	Win-Win 関係による具体的なプロジェクト創成に向けた相互努力の必要性を確認	具体的ビジネス形成に資する両国産業界のニーズとシーズのマッチングを促進	日中省エネ・環境分野の互恵協力と地方へのビジネス展開	日中省エネ・環境協力プロジェクトの量的拡大から質的向上へ
主催	経済産業省、日中経済協会、国家発展改革委員会、				
日程	2006年5月29日(月)～30日(火)	2007年9月27日(木)～28日(金)	2008年11月28日(金)	2009年11月8日(日)	2010年10月24日(日)
開催地	東京 (ホテルオークラ)	北京 (人民大会堂)	東京 (グラントプリンスホテル新高輪)	北京 (人民大会堂)	東京 (グラントプリンスホテル赤坂)
参加者数	850名 (日方500、中方350)	1,000名 (日方500、中方500)	1,100名 (日方800、中方300)	1,000名 (日方500、中方500)	1,100名 (日方700、中方400)
主 要 出 席 者	二階俊博経済産業大臣 小池百合子環境大臣 千速見日中経済協会会長 小宮山宏東京大学総長	甘利明経済産業大臣 張富士夫日中経済協会会長 南直哉 JC-BASE 副会長 望月晴文資源エネルギー庁長官	二階俊博経済産業大臣 吉野正芳環境副大臣 張富士夫日中経済協会会長	直嶋正行経済産業大臣 三村明夫日中経済協会副会長 南直哉 JC-BASE 副会長 石田徹資源エネルギー庁長官 内藤正久日本エネルギー経済研究所理事長	大島章宏経済産業大臣 池田元久経済産業副大臣 近藤昭一環境副大臣 張富士夫日中経済協会会長 細野哲弘資源エネルギー庁長官
	姜偉新国家発展改革委員会副主任 薄熙来商務部長 王毅中国駐日大使	曾培炎國務院副総理 馬凱国家発展改革委員会主任 陳徳銘国家発展改革委員会秘書長 魏建国商務部副部長 姜偉新建設部部長 王鉄宏建設部総工師	解振華国家発展改革委員会副主任 蔣耀平商務部副部長 崔天凱中国駐日大使	李克強國務院副総理 解振華国家発展改革委員会副主任 陳健商務部副部長 張少春財政部副部長 李幹傑環境保護部副部長	張曉強国家発展改革委員会副主任 蔣耀平商務部副部長 程永華中国駐日大使
協力合意	5件	10件	19件	42件	44件
分科会	①省エネ環境保護政策法規、標準、産品認証 ②ESCO(省エネサービス企業)と融資担保(信用保証)メカニズム ③鉄鋼 ④ガラス、セメント、新型建築材料 ⑤再生可能エネルギー、電力、ガス、石炭 ⑥自動車 ⑦日中長期貿易(電力、ごみ焼却、石油)	①電力 ②自動車 ③電気・変圧器 ④鉄鋼 ⑤環境 ⑥省エネ政策 ⑦民生(建築)省エネ ⑧日中長期貿易(鉄道、湖沼浄化、発電、環境税制、CDM)	①化学 ②自動車 ③海水淡水化・水処理、回収 ④省エネ技術(節電・節油)・省エネ診断 ⑤発電 ⑥循環経済 ⑦日中長期貿易(下水汚泥処理、湖底汚泥処理)	①トップランナー制度 ②循環経済 ③海水淡水化・水処理 ④自動車 ⑤発電/石炭 ⑥化学 ⑦日中長期貿易(汚泥処理)	①LED照明/省エネビル ②循環経済 ③水処理・汚泥処理、ごみ焼却発電 ④自動車 ⑤低炭素(CCS-EOR) ⑥石炭・火力発電 ⑦中小企業の省エネ・ESCO ⑧日中長期貿易(汚泥処理、環境金融)
地方視察	東京、北海道、中部、関西、北九州など6コースを訪問	重慶訪問団(団長:南直哉 JC-BASE 副会長)33名を派遣	12コースに分かれて各地を訪問	重慶、唐山と各分科会をベースに、7コースに分かれて9都市を訪問	14都道府県、22都市を9コースに分かれて訪問
その他	主要出席者による基調講演のほか、テーマ別講演も実施	日本側企業・団体21社がパネル展示に出展すると共に、23コマの企業プレゼンテーションを実施	日本側企業・団体33社が企業パネル展示に出展	重慶市では、化学、石炭、ガス、汚泥処理をテーマにミニフォーラムを開催	日本側企業・団体32社が企業パネル展示に出展。優良事例として、川崎重工業、安徽海螺集団が案件を紹介



## 第6回

## 第7回

## 第8回

## 第9回

## 第10回



省エネ・環境分野における互恵協力

省エネ・環境協力で日中相互信頼関係の深化に貢献。協力主体・地域の多様化、内容の具体化

2年振りの交流再開。日中省エネ・環境分野における協力の必要性を再確認

COP21 に向け日中がグリーン発展で協力強化することを共通認識に

本フォーラムの継続開催、企業・研究機関の更なる協力推進、グリーン発展人材育成強化などについて覚書署名

商務部、中国駐日大使館※（※日本での開催時のみ主催）

2011年11月26日（土）	2012年8月6日（月）	2014年12月28日（日）	2015年11月29日（日）	2016年11月26日（土）
北京 （人民大会堂、国家会議中心）	東京 （椿山荘）	北京 （遼寧大廈）	東京 （ザ・プリンス パークタワー東京）	北京 （国家会議中心）
1,000名 （日方500、中方500）	1,000名 （日方600、中方400）	500名 （日方250名、中方250名）	750名 （日方約470名、中方約270名）	800名 （日方約300名、中方約500名）
枝野幸男経済産業大臣 岡本巖日中経済協合理事長 高原一郎資源エネルギー庁長官 佐々木伸彦経済産業省通商政策局長 丹羽宇一郎駐中国日本国大使	枝野幸男経済産業大臣 細野豪志環境大臣 張富士夫日中経済協会会長 高原一郎資源エネルギー庁長官	高木陽介経済産業副大臣 渡文明日中経済協会副会長 上田隆之資源エネルギー庁長官	林幹雄経済産業大臣 丸川珠代環境大臣 高木陽介経済産業副大臣 宗岡正二日中経済協会会長 日下部聡資源エネルギー庁長官	世耕弘成経済産業大臣 宗岡正二日中経済協会会長
李克強國務院副総理 張平国家発展改革委員会主任 尤権國務院副秘書長 謝旭人財政部部長 李金早商務部副部長 李栄燦商務部部長助理 張力軍環境保護部副部長	張平国家発展改革委員会主任 高虎城商務部国際貿易交渉代表 程永華中国駐日大使	解振華国家発展改革委員会副主任 高燕商務部副部長	張勇国家発展改革委員会副主任 高燕商務部副部長 程永華中国駐日大使	徐紹史国家発展改革委員会主任 張勇国家発展改革委員会副主任 高燕商務部副部長
51件	47件	41件	26件	28件
①トップランナー制度 ②グリーン建築物 ③水処理・汚泥処理 ④循環経済 ⑤新エネルギー自動車 ⑥石炭・火力発電 ⑦日中長期貿易（排水処理、汚泥処理、自動車リサイクル）	①循環経済 ②水・汚泥処理 ③エネルギー管理システム ④グリーン建築・LED ⑤自動車 ⑥石炭・火力発電 ⑦分散型エネルギー ⑧日中長期貿易（自動車リサイクル、汚泥処理）	①エネルギー管理システム・LED ②石炭火力発電（クリーンコールテクノロジー） ③大気汚染対策 ④循環経済 ⑤次世代自動車 ⑥日中長期貿易（自動車リサイクル、汚泥処理）	①エネルギー多消費企業の省エネ対策 ②スマートシティ ③次世代自動車 ④循環経済 ⑤石炭火力発電 ⑥日中長期貿易（自動車リサイクル、汚泥処理）	①都市緑色管理（スマートシティ） ②省エネサービス産業 ③循環経済 ④新エネルギー車・自動車知能化 ⑤クリーンコール技術・石炭火力発電 ⑥日中長期貿易（節水、海水淡水化、汚水・汚泥処理）
分科会テーマをベースに、6コースに分かれて9省・直轄市を訪問	分科会テーマをベースに、9コースに分かれて各地を訪問	日中長期貿易（LT）分科会のみ、江蘇省を訪問してリサイクルを中心とする企業を視察	6分科会、7コースで各地視察。張勇副主任も独自視察実施	クリーンコール技術・石炭火力発電と日中長期貿易の2分科会で視察実施
日本側企業・団体17社が企業パネル展示に出展。晩餐会には張平主任、解振華改委副主任、枝野大臣らが出席	日本側企業・団体15社が企業パネル展示に出展。これまでの調印案件についてフォローアップ調査を実施し、結果を発表	ノーベル物理学賞受賞者の天野浩名古屋大学大学院教授と王毅中国科学院政策所所長が記念講演。その他、王小康中国節環保集団董事長が基調講演	日本側企業団体14、中国1（大連市）のパネル展示。「日中企業による協力プロジェクト」として、小久保憲一日立製作所執行役常務・中国総代表、彭寿中国建材国際工程集団董事長が報告	日本側企業団体5、中国7のパネル展示。「日中企業代表による省エネ環境先進技術」として、梅田康幸古河産機システムズ株式会社副社長が山東濰博・日中大気汚染対策協力モデル区とメタルメッシュ式乾式電気集塵機を紹介

## ■ 全体会議

### ◆ 世耕弘成 経済産業大臣



世界経済の先行きの不透明感が増す中で、世界第2位、第3位の経済大国である日中両国は「戦略的互恵関係」の考え方にに基づき、国際社会の課題解決に向けてともに貢献をし、また双方の経済活動を活性化することで、世界経済の成長を牽引していくことが求められている。

各国が「自由貿易の深化」と「国内の成長」の両輪でバランスよく前に進むことが重要。国内成長については、各国がそれぞれの強みを互恵的に結合させ共に成長力を高めることが必要であり、特に、省エネルギー・環境は日中でウィンウィンの関係が作りやすい分野である。今後は、「スコープ」(社会システム全体の効率化)と「エリア」(日中共同の案件を同様の問題を抱えるアジア諸国への展開)の2つの点で、日中協力を大きく広げるため、新たな次元に入るべきである。

在世界经济变幻莫测的背景下，作为世界第二，第三大经济体的中日两国有责任和以战略互惠关系为出发点，共同解决当前国际课题，激活本国经济，为牵引世界经济发展作出贡献。在节能环保方面，中日合作有条件实现双赢，在今后促进社会全体效率化与共同开拓亚洲其他各国市场方面，为扩展两国合作，应积极迈出新的步伐。

### ◆ 徐紹史 国家發展改革委员会主任



中国は緑色理念確立に向け、主体機能区戦略徹底・生態文明制度の確立・資源利用方式の根本的転換・技術革新と構造調整推進を加速し、自然生態と環境保護を強化する。エネルギー、土地、水資源の消費は単位当たりと総量の両方を規制する。中日間の省エネ・環境保護分野の協力を強化したい。

1. 双方協力の深化。中日省エネルギー・環境総合フォーラムのプラットフォームとしての役割を發揮、両国の政府、企業、地域、機関の間における政策検討・技術交流・人員往来をさらに増強、モデルプロジェクト協力を積極的に推進する。
2. 地域協力の強化。共同で大気汚染等地域的な環境課題に取り組み、中日循環経済モデル基地建設、アジア太平洋地域の緑色発展を推進する。
3. グローバル協力の開拓。中日は、気候変動等グローバルな事項における協力を強化すべき。パリ協定の実施・成功を共同で推進、G20エネルギー効率リーディング・プログラムを積極的に実行、第3国市場を共同で開発を進める。

中国将绿色发展作为全面建成小康社会的重要引领，大力推进生态文明建设，实现资源利用方式的根本转换和技术创新，加速结构调整，加大自然生态系统和环境保护力度，严格落实对能源、土地、水资源的耗费强度和总量“双控制度”。积极加强中日双方在节能环保领域的协作。提出三点倡议，一是深化双边合作，二是加强区域合作，三是拓展全球合作。

### ◆ 高燕 商務部副部長



商務部は対外開放拡大の中で、グリーン流通と省エネ・環境保護産業の発展を極めて重視。「外商投資産業指導目録」を改訂し、省エネ・環境産業への投資奨励と先進的実用的省エネ・環境技術の積極的導入を奨励。中国企業の海外市場開拓を支援。

中国と日本はそれぞれ世界第2、第3の経済体であり、省エネ・環境分野での相互補完性が高く、今後未来に向けた合作の前途は大きい。私から以下の5点を提案したい。

1. 新たな提携の局面を共に模索し、グリーン戦略のマッチングを推進。
2. 政策対話を強化し、グリーン協力環境を醸成。
3. 地方のルートを開拓し、グリーン・パートナーシップを構築。
4. 協力モデルのイノベーションをはかり、グリーン生産能力の第三国提携を推進。
5. グリーン金融を発展させ、着実な経済貿易協力を支援。

商务部在扩大对外开放的过程中，非常重视绿色流通与节能环保产业发展。中日是世界第二、第三大经济体，在节能环保领域互补性强，未来合作前景广阔，双方可在绿色战略对接、营造绿色合作环境、构建绿色伙伴关系、开展绿色产能第三方协作、发展绿色金融等方面加强合作。

### ◆ 宗岡正二 日中経済協会会長



フォーラムは時代のニーズの多様化に対応。省エネルギーでは、当初の「製造プロセスの省エネ」から、ビル・住宅、交通・運輸、更には地域の省エネへと順次拡張。日中経済協会は、大気汚染対策協力に関し、山東省淄博市をモデル区として実施する中で、日本の技術が割高という課題をめぐりライフサイクルコストによる評価への中国側の理解を得るよう努力するなどして協力が具体化しつつある。製造・交通・物流・エネルギー等分野でスマート化が進む段階を迎えており、両国における省エネ・環境に関わるイノベーションの実現を図っていきたい。

本论坛顺应新时期需求多样化，在节能方面由起初单一的制造过程节能逐步拓展到商业设施、民用住宅、交通运输以及地区节能等多方领域。我们将与中方继续加深理解，譬如共同探讨设备生命周期成本等课题以加强协作具体化进程。在制造、交通、物流、能源等领域逐步智能化的背景下，我们期待与中方在节能环保领域积极合作、以求创新。

上記講演者の講演内容は下記日中経済協会ウェブサイトにてご確認頂けます。

☞ <http://www.jc-web.or.jp/> 「第10回日中省エネ・環境総合フォーラム」



## ◆ 中日省エネ環境協力の回顧と展望 任樹本国家発展改革委員会資源節約環境保護司司長



中日の省エネルギー・環境分野における協力の成果は顕著。これまでに、政府、機構、企業、研究機構からの参加者は累計で8,000人を超え、参加企業数は2,000社。第9回フォーラムまでに双方は、計285の協力プロジェクトを締結。そのうち、目的達成のプロジェクトは52、順調に進捗しているプロジェクトは149、全体のプロジェクト実施率は約90%。本フォーラムの枠組みの中で、双方の実務的な協力をさらに深化させたい。

中日节能环保合作成果显著。来自政府机构、企业、研究单位的累计参会代表超过8000名，参会企业达2000余家，在前九届论坛上，中日双方共签署了285个合作项目，据统计，52个项目已经顺利完成，149个项目进度良好，总体来看，项目实施率接近90%。希望继续深化中日双方在中日节能环保综合论坛框架下开展的务实合作。

## ■ 日中企業代表による省エネ環境先進技術の発表

### ◆ 梅田康幸古河産機システムズ株式会社副社長

—山東淄博・日中大気汚染対策協力モデル区とメタルメッシュ式電気集塵機について



産業機械メーカーとして電気集塵機の歴史は50年以上、実績は日本をベースに800基を超える。山東・淄博日中大気汚染対策協力モデル区の枠組みで、山東アルミ会社の焙焼炉の排ガス処理のためのメタルメッシュ式電気集塵機導入について契約を締結。バグフィルタと比べて省エネであり、初期投資はバグフィルタの2倍だが、年間ランニングコストは3分の1以下。第9回、第10回フォーラムの調印案件。

古河産機システム株式会社副社長 梅田康幸  
—山東淄博・日中大気汚染対策協力モデル区と過渡式静電除塵機について

古河産機システムは静電除塵機方面で50年以上の製造経験及び日本を主たる超800基の販売実績。在示范区の枠組みで、第九、第十回論壇、山東铝业公司就焙烧炉废气处理缔结了金属网式静电除尘机的引进合约。与从前的袋式过滤机相比，年间运营费用将缩减到1/3以下。

### ◆ 吳道洪北京神霧集團董事局主席

—新しい省エネサービス・汚染排出削減の技術とビジネスモデルについて



自社の核心技术（蓄熱式高温合金溶解技術と蓄熱式高温化学反応技術）を紹介。①ごみバイオ処理、②非鉄金属、鉄鋼精錬技術、③水素によるコークス、石炭、高炉鉄鋼精錬の代替技術、④低品質石炭を火力発電と融合し大気汚染を削減する技術、⑤アセチレンによる石炭燃焼技術。内モンゴルでのモデル工場の例を紹介。

北京神霧集團董事局主席 吳道洪

—关于新型节能服务、污染减排技术及经济模型的介绍

本集团的核心技术（蓄热式高温合金熔解技术、蓄热式高温化学反应技术）主要是垃圾生化处理、非铁金属与钢铁精炼技术、以氢气代替焦炭煤炭的高炉钢铁精炼技术。低品位煤炭与火力发电相融合的污染减排技术、乙炔煤炭燃烧技术、内蒙古示范工厂的介绍。

## ■ 分科会

### ◆ 都市緑色管理(スマートシティ)分科会 城市绿色管理分论坛

本分科会は、2015年11月に日本・東京で開催された第9回フォーラムからスタートした。初回は、日本のスマートコミュニティ、スマートシティの先進事例（横浜、北九州、柏の葉）と具体的な取組みなどに関する紹介が行われたが、今回は、スマートシティの国際標準化をも念頭に、資源節約・環境配慮型の都市開発・運営等の日中のビジネス交流・協力に向けて、中国での先進事例や取組み等の紹介を受けるとともに、双方のコンセプト、政策、技術ソリューションやファイナンススキームについての相互理解を深め、最適かつ実行可能な方向性を共に探究することが双方の関心事項となった。

今後の課題は、双方の関心事項をより具体的に摺り合わせることであり、それができれば、ビジネス成果に繋がっていくものと期待される。

本分论坛设立于2015年11月在日本东京举办的第九届综合论坛。首次分论坛主要介绍了日本智能城市的先进案例（横浜，北九州，柏之叶）及具体措施。本次分论坛将以绿色城市国际标准化为议题，讨论资源节约，环保型城市开发运营等中日产业交流协作问题。在介绍中国的成功案例及具体措施的同时，在双方的理念、政策、技术对策及融资制度等方面加深了解，共同寻求最优的可行方向。作为今后的课题，将就双方关心的事项进行具体磋商调整，以期达成商业成果。

### 都市緑色管理(スマートシティ)分科会 アジェンダ

2016年11月26日(土)9:30～ 於：国家会議中心2階202号室

議長：中国側：国家発展改革委員会資源節約環境保護司 総合協調指導処副調研員 馬維晨  
日本側：資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課長 吉川徹志

内 容	
冒頭挨拶	中国側：国家発展改革委員会 資源節約環境保護司 総合協調指導処副調研員 馬維晨 日本側：資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課長 吉川徹志
都市の発展方式を転換し緑色低炭素の道を進む	中国城市小城镇改革发展中心副主任 喬潤奇
スマートシティの国際標準化	日立製作所研究所 開発グループ 社会イノベーション協創統括本部 チーフアーキテクト室室長、ISO/TC208/SC1議長 市川秀明
諸都市の都市緑色管理の経験と取組み	浙江省諸暨市副市長 何鴻成
日本のZEB(net Zero Energy Building)技術展開	大成建設株式会社 常務執行役員・国際支店長 井上善博
実務協力推進による生態淄博の建設——中日大気汚染防止総合モデル区の創成	山東省淄博市区域発展戦略推進弁公室主任 于道琪
中国における先進的なZEBの事例紹介	株式会社日建設計 設備設計グループ エネルギー・情報計画部部長 柴 千治
休憩/名刺交換等交流	
グリーンファイナンスによるグリーンシティの発展	中国銀行監督管理委員会 政策研究局局長 李曉文
JBOの都市インフラ整備と環境分野における取組 ～中国向け業務概要～	株式会社国際協力銀行 北京駐在員事務所 首席駐在員 越智幹文
意見交換、質疑応答	
総括発言	日本側：資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部政策課長 吉川徹志 中国側：国家発展改革委員会 資源節約環境保護司 総合協調指導処副調研員 馬維晨

## ◆ 省エネサービス産業分科会 节能服务产业分论坛

日中両国のエネルギー政策において、省エネは最も重要な課題の一つである。中国政府は、省エネによるエネルギー効率の向上が、新たなエネルギー開発よりも低コストで、環境にやさしくクリーンな手段であると認識している。そして、省エネサービス産業は、日本がそうであるように、省エネを効果的・効率的に進めるために不可欠な要素だと位置づけられている。

今回、双方での交流により知見と技術の共有が進み、省エネサービス産業における協力関係を一層深めるための大きな潜在力を確認することができた。具体的なビジネス展開に向け、今後とも本フォーラム等を通じて連携して取り組んでいくことに合意した。

中日两国能源政策中，节能是首要课题。中国政府对节能带来的增产增效，降低成本，保护环境的效果，有着清楚的认识。日本也将节能作为提高能效的不可或缺的要素放在极其首要的地位。本次分论坛通过双向交流，进一步促进了观念与技术共享，确认了在节能环保领域协作的巨大潜力。两国就继续以论坛为依托，积极开展经济贸易往来的事项达成了共识。

## ◆ 循環経済分科会 循环经济分论坛

環経済分科会では日中合計125名が出席し、日本側からは経済産業省リサイクル推進課、自動車課及び民間リサイクル企業、中国側からは国家発展改革委員会循環経済処、民間リサイクル企業による発表が行われた。

今次分科会を通し、絶えず変化し続ける日中を取り巻く環境の中で、日中両国がお互いのニーズと強みを正しく認識し、理想的な循環経済社会の構築に向けて引き続き協力を進める必要性を再認識すると共に、各リサイクル分野における双方の新たな協力方法を模索する方向性を確認した。

中日共有125名企業代表出席。日本経済産業省再利用推進課、自動車課、民間循環再利用企業及び中国国家发改委循环经济处、民間回収再利用企業分別発言。通过本次分论坛，处于环境剧烈变化中的中日两国对于各自的需求与强项达成了正确的认识，确认了为构筑理想循环经济社会而积极协作的必要性，同时在摸索再利用各个领域的新型合作方式的方向性问题上达成了共识。

## ◆ 新エネルギー車・自動車知能化分科会 新能源汽车与智能汽车分论坛

今回は、新エネルギー車の発展と運営・自動車の知能化についての研究・開発をテーマに、日中共同研究に踏まえて、日中双方合計124名の出席で発表が行われた。

2014年末に日中双方が調印した「日中新エネ車と充電インフラ共同研究に係る覚書」は、2016年で終了した。日本自動車研究所(JARI)と中国自動車技術研究センター(CATARC)を中心とした共同研究の成果は、日中両国の充電インフラ整備の現状、運営モデル調査とビジネスモデルの実例分析を通じて、適合するビジネスモデルと政策提案が出され、また、EVと充電器の互換性研究においては、互換性確認共同試験のデータに基づき、中国の充電標準意見募集稿の検討会の資料として提出された。

本分科会を通じて、日中両国の新エネ車・知能化自動車の共同研究・開発における協力、協働が欠かせないことの再確認ができ、日本側から超高速充電技術の実証試験(2017年3月)への参加を打診したのに対し、中国側コーディネーターが即座に歓迎のコメントをする場面あり、更なる連携の道が広がった。

2016年の分论坛以新能源汽车的发展运营和汽车智能化的研究开发为议题，在中日共同研究的基础上，共有124名代表出席并发言。2014年末中日双方签订的《中日新能源汽车与充电公共实施共同研究备忘录》期满。在合作期间，以中国汽车技术研究中心(CATARC)与日本汽车研究所(JARI)为主体的共同研究，通过对中日两国基础设施建设情况、运营示范点调查与商务模式的案例分析，提出了相应的商务模式与政策建议。另外根据兼容验证数据所进行的EV与充电器的兼容研究的成果也在中国充电标准意见征集稿研讨会上发表。通过本次分论坛，再次确认了在新能源汽车与智能汽车研发上，两国合作的必要和重要性。针对日本方面发出的超高速充电技术实证的参加邀请，中方当场给予了积极热烈的回应，顺利开拓了今后两国协作的广阔之路。

### 省エネサービス産業分科会 アジェンダ

2016年11月26日(土) 於：国家会議中心2階203室
議長： 中国側：国家発展改革委員会 資源節約・環境保護司 省エネルギー処 趙慎勇 日本側：資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課長 吉田健一郎
<b>内容</b>
冒頭挨拶 中国側：国家発展改革委員会 資源節約・環境保護司 省エネルギー処 趙慎勇 日本側：資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課長 吉田健一郎
経済の新常態下における中国のエネルギー消費と省エネルギー情勢 国家発展改革委員会 省エネルギー研究所 エネルギー効率センター 執行主任 白泉
省エネ大賞制度の特長と優秀事例について 一般財団法人省エネルギーセンター 国際協力本部 国際調査連携部・国際連携センター長 田中晴
中国の省エネルギーサービス産業発展の現状と主な推進事業 中国省エネルギー協会 省エネルギーサービス産業委員会 副主任 孫小亮
中国における省エネルギー環境サービス DMC エネルギーマネジメントサービス(深圳) 総経理 井手義浩
質疑応答 休憩/名刺交換等交流
省エネ給湯から総合的な機械設備省エネまでのアウトソーシングサービスの拡張 日本熱連得省エネルギー科技股份有限公司 董事長 潘広彪
アズビルの業務と業績紹介及び提案事例 アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー 国際本部 営業部 中国室長 望月周能
発電所における化石エネルギー消費の低減と再生可能エネルギーの利用拡大 杭州聚能控股集团 副総裁 総経理 孫波
サンデングループの紹介と中国における市場参入について サンデン・リビングエンバイロメントシステム株式会社 海外営業本部担当部長 鶴岡秀也
質疑応答 総括発言 日本側：資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課長 吉田健一郎 中国側：国家発展改革委員会 資源節約・環境保護司 省エネルギー処 趙慎勇

### 循環経済分科会 アジェンダ

日時：2016年11月26日(土) 9:30～12:50 於：中国北京 国家会議中心 二階205 メインテーマ：日中の資源循環利用政策と技術
議長： 中国側：国家発展改革委員会 資源節約・環境保護司 循環経済処 陸冬森 日本側：経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課長 高角健志
<b>内容</b>
開会のご挨拶 国家発展改革委員会 資源節約・環境保護司 循環経済処 陸冬森 経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課長 高角健志
1. 政策セッション 日中の資源循環利用政策 日本国政府の資源循環政策の現状と今後の展開 経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課長 高角健志
中国の資源循環利用政策 国家発展改革委員会 マクロ経済研究院 経済体制与管理研究所 循環経済研究室主任 楊春平
日本の自動車リサイクル制度の現状 経済産業省 製造産業局 自動車課 自動車リサイクル室長 保坂明
質疑応答 コーヒープレイク
2. 事業セッション 日中の資源循環技術 日本のリサイクル部品ビジネスと中国解体事業の展望(自動車リサイクル) 多田自動車商会株式会社 代表取締役会長 多田幸四郎
我が国の自動車回収解体業界の現状と展望(自動車リサイクル) 中国再生資源開発公司 副総経理 劉永彬
中国リサイクル部品流通におけるブロードリーフの取り組みご紹介(自動車リサイクル) 株式会社ブロードリーフ 新規事業開発部 DB戦略課 リーダー 瀬川万里
未定(電池リサイクル) 格林美股份有限公司 董事長 許開華
資源循環社会と共生した低炭素地域づくり「食品廃棄物の地域循環圏形成」(食品リサイクル) 楽しい株式会社 代表取締役 松尾康志
中国包装物回収方法の現状と展望(包装物リサイクル) 中国物資再生協会 常務副会長 劉強
質疑応答 総括発言 国家発展改革委員会 資源節約・環境保護司 循環経済処 陸冬森 経済産業省 産業技術環境局 リサイクル推進課 課長 高角健志
ネットワークキング 閉会

### 新エネルギー車・自動車知能化分科会 アジェンダ

2016年11月26日(土) 於：北京 国家会議センター 会場 206 号会議室
議長： 中国側：国家発展と改革委員会 産業協調司 機械装備処 処長 呉衛 日本側：経済産業省 製造産業局 自動車課 企画官 西野聰
<b>内容</b>
開会のご挨拶 中国側：国家発展と改革委員会 産業協調司 機械装備処 処長 呉衛 日本側：経済産業省 製造産業局 自動車課 企画官 西野聰
中国新エネルギー車産業発展の全体状況 国家発展と改革委員会 産業協調司 機械装備処 主任課員 顧黎明
日本の次世代自動車振興施策 経済産業省 製造産業局 自動車課 電池・次世代技術-ITS 推進室室長 奥田修司
日中新エネ自動車と充電インフラ共同研究成果報告 (1) 中国自動車技術センター-北京工作部 主任 王建海 (2) 日本自動車研究所 研究主幹 木戸彰彦
休憩
EV 車充電インフラの快速発展を促進する 中国電動充電インフラ促進連盟 秘書長 許艶華
超高速充電に関する日中間の情報交換に関する提案 経済産業省 製造産業局 自動車課 電池・次世代技術-ITS 推進室室長 奥田修司
新エネルギー車・ICV 技術ロードマップの概要 中国自動車工学会 自動車産業研究院 運営総監 馮錦山
日産自動車の自動走行技術 日産(中国)投資有限公司 副総経理 小林健樹
FCVの開発とサステイナブルモビリティに向けて トヨタ自動車研究開発センター(中国)有限公司 副総経理 伊藤伸一
質疑応答 閉会のご挨拶 日本側：経済産業省 製造産業局 自動車課 企画官 西野聰 中国側：国家発展と改革委員会 産業協調司 機械装備処 処長 呉衛



## ◆ クリーンコール技術・石炭火力発電分科会 清潔煤技術と煤炭火力发电分论坛

日本も中国も共に火力発電は電源構成の過半を占める重要な電源であり、今後も増加する電力需要を安定的かつ効率的に満たすためには引き続き石炭火力発電を活用していくことが不可欠である。他方、昨年のCOP21におけるパリ協定の採択など、火力発電全体の低炭素化の推進は日本、中国を問わず共通の重要課題となっている。

本分科会を通じて、日中双方が互いに当該分野における概況や技術について情報交換し、相互の理解を深め交流することが出来たことは、今後の日中双方が火力発電分野での低炭素化を推し進める上で大いに参考となるものである。特に中国の石炭火力発電におけるピーク調整改造推進は非常に大きなプロジェクトであり、プロジェクト技術と研究開発の双方において国際協力を強化する方針であるところから、日本としてもそこにビジネスでのWin-Winの可能性を見出す機会となった。また、河北省三河市の神華国华三河発電所を視察した。

无论是对于中国还是日本，火力发电都占到总发电量一半以上，是电力来源的重要组成部分。为满足今后日益增加的电力需求，安定有效的火力发电仍不可或缺。另一方面，根据去年(2015)在巴黎召开的第21届联合国气候变化大会(COP21)上达成的《巴黎协定》，火力发电的二氧化碳减排成为中日两国共同的重要课题。通过本分论坛，中日双方达到了增进技术信息交流和加深相互理解的目的，对于推进火力发电低碳化进程有着重要的意义。特别是对于正值火力发电高峰期调整改造中的中国而言，二氧化碳减排是一项非常大的工程，中日两国在技术开发上的国际协作，有助于双方在事业上达到双赢。代表们还参观访问了河北省三河市的神华国华三河发电厂。

## ◆ 日中長期貿易分科会 日中长期贸易分论坛

日本側・日中長期貿易協議委員会 省エネ等技術交流促進部会と中国側・日中長期貿易協議委員会 省エネ環境保護技術合作分會(商務部對外貿易司)は、省エネ・環境ビジネス支援・促進の為の対話の場として、第1回日中省エネルギー・環境総合フォーラム(2006年)以来、同フォーラムにおける分科会の形で毎回定期交流を行っている。

中国節水13次五力年計画策定の今年、本分科会では商務部對外貿易司と協議し、国家發展改革委員會節水処から提案のあった節水・海水淡水化をテーマに取り入れ、水循環の川上から、汚水・汚泥処理、無害化などの川下分野まで一貫した水循環システムにおける日中協力の可能性について交流を図ることになった。また、分科会終了後には固城湖調節池(南水北調関連施設)と北京第九浄水場を視察した。

作为中国中日长期贸易协议委员会节能环保技术合作部会—商务部对外贸易司与日本中日长期贸易协议委员会节能技术交流促进分委会间进行节能环保支援促进活动的交流平台，本分论坛在中日第一届节能环保综合论坛(2006年)以来，每年进行定期交流。2016年作为中国第13个五年规划的第一年，本分论坛与中国商务部对外贸易司协议，以国家发展改革委员会节水处提出的节水与海水淡化化为议题，探讨了由水循环上游流域至污水和污泥处理，无害化等下游流域各方面双边合作的可能性。分论坛结束后，代表们参观访问了南水北调工程固城湖调节池和北京第九水厂。

## ■ シーズ情報発信(技術一覧及び企業パネル展示)

本フォーラムでは、日本企業の省エネ・環境技術設備をPRする技術一覧を配布するとともに、特設展示コーナーを設け、日本企業5社、中国企業が7社、自社の技術・ソリューションの概要や中国での実績例をパネルで紹介しました。

【日本企業の省エネルギー・環境関連設備・技術一覧】

### 【パネル展示・出展企業一覧】

1. サンデン・リビングエンバイロメントシステム株式会社  
CO<sub>2</sub>ヒートポンプ暖房機  
三電宜居環境システム(CO<sub>2</sub>热泵空调)
2. 富士電機(中国)有限公司  
大気分析・計測機器(エアロゾル複合分析機器)  
富士电机(大气检测分析仪器)
3. 横河電機株式会社  
汚水浄化、処理水のリサイクル  
横河电机(污水净化和再利用)
4. 古河産機システムズ株式会社  
メタルメッシュ式乾式電気集塵機  
古河产机系统(过滤式静电除尘器)
5. オプテックス株式会社  
簡易水質測定サービス[WATER it]  
OPTEx(简易水质检测服务—水易特)

スマートフォンからのアクセスは↓から!



### クリーンコール技術・石炭火力発電分科会 アジェンダ

2016年11月26日(土) 於：国家會議中心2官208室

議長：

中国側：經濟産業省 資源エネルギー庁 長官官房総合政策課企画官(石炭政策担当)塚田裕之

日本側：国家能源局電力司 副司長 趙一農

内容

冒頭挨拶

中国側：国家能源局電力司 副司長 趙一農；開幕挨拶

日本側：經濟産業省 資源エネルギー庁 長官官房総合政策課企画官(石炭政策担当)塚田裕之

塚田裕之：省エネ・技術動向

関連産業政策紹介

中国側：国家電力規画研究中心 発電技術研究所 所長 姜士宏：中国石炭発電発展状況

日本側：一般財団法人石炭エネルギーセンター 理事 塚本修：本分科会趣旨

国電集団による火力発電所柔軟性改造事例

・中国国電集団公司 呉炬

需給適用面からみた石炭火力の役割変化

・日本中国電力株式会社 電源事業本部 火力機械技術グループ マネージャー 二井崇志

質疑応答

テーブルトーク

浙能集団による省エネルギーレベルアップ改造事例

浙能電力股份公司 趙軍

火力発電における管理レベルの向上(計測分析)

株式会社細島製作所 環境・プロセス事業戦略室 事業企画チーム マネージャー 小林剛士

(事例紹介)山東省鄒県発電所でのAQCSによる改造事例

二重日立パワーステムズ株式会社 浙江送達愛立高性能烟气净化系统工程有有限公司

副總經理 豊原正隆

質疑応答

総括発言(5分×2)

中国側：国家能源局 電力司 副司長 趙一農

日本側：經濟産業省 資源エネルギー庁 長官官房総合政策課企画官(石炭政策担当)塚田裕之

### 日中長期貿易分科会 アジェンダ

2016年11月26日(土)9:30~13:00 於：北京 国家會議中心2階213室

主題：水環境改善及び資源再利用(節水、海水淡水化、汚水・汚泥処理)

司会者：商務部對外貿易司 機電製品輸入・國際入札処 処長 劉進明

内容

冒頭挨拶

中国側：日中長期貿易協議委員会 環境技術合作分會 会長代理 朱詠(商務部對外貿易司 副司長)

日本側：日中長期貿易協議委員会 省エネ等技術交流促進部会 部長代理 前田泰生(電源開発株式会社 相談役)

中国が推進する節水型社会建設の主な方法と考え方

国家發展改革委員會 資源節約・環境保護司 節水処 処長 牛波

日本が推進する水ビジネス

經濟産業省 製造産業局國際ブランド・インフラシステム・水ビジネス推進室 企画調整官 井上宏一

中国における「Team in Kansai」の取組について

經濟産業省 近畿經濟産業局通商部國際事業課 課長 勝谷透

海水淡水化の総合利用技術の研究開発状況と展望

國家海洋局 天津海水淡化研究所 總工程師 阮國峰

高速海底透取水システムHISIS

株式会社ナカオ 営業本部國際水ビジネス営業部 主任 劉魯安

PPP政策の解説及び水環境分野における応用

E2O環境プラットフォーム 研究院 院長助理 再雄

東レGの水処理事業及び中国での取り組み

東レ株式会社 メンブレン事業第2部 藤宮安

北控水務グループの海水淡水化事業及び中国海水淡水化市場の展望

北控水務集團有限公司 海水淡化事業部 總經理 王小水

休憩

ポアロン® PTFE中空糸膜を用いた水処理について

住友電気工業株式会社 水処理事業開発部営業部 部長補佐 井田清志

排水リサイクル及び海水淡水化におけるMF/UF膜の適用とその事例紹介

旭化成分離装置(杭州)有限公司 中国営業總監 張銀

汚泥炭化技術応用の将来と展望

中節博奕(湖北)環境工程技術有限公司 總經理 錢鳴

鉱山の重金屬汚染土壌及び排水処理 薬劑選択と施工方法

北九環境投資有限公司(上海遠宜環境科技有限公司)董事長 吉田憲幸

質疑応答

総括発言  
日中長期貿易協議委員会 事務局局長/一般財団法人日中經濟協會 専務理事 杉田定大

## 第10回フォーラムで文書交換された日中協力プロジェクト (28件)

日本国省エネルギーセンター及び中国国省エネルギーセンター間の協力覚書の有効期間延長に関する合意書  
(关于延长合作备忘录有效期限的协议书)  
日本側：一般財団法人省エネルギーセンター  
中国側：中国国家節能中心

中国城市・小城镇改革发展中心と日中経済協会及び海外エコシティプロジェクト協議会との「スマートシティ等協力推進」に関する覚書締結  
(推进智慧城市等领域合作的备忘录)  
日本側：一般財団法人日中経済協会、一般社団法人海外エコシティプロジェクト協議会  
中国側：中国城市・小城镇改革发展中心

日本国関西・アジア 環境・省エネビジネス交流推進フォーラムと中華人民共和国広東省科技合作研究促進中心との環境分野におけるビジネス交流促進  
(促进环境领域商务交流)  
日本側：関西・アジア 環境・省エネビジネス交流推進フォーラム(Team E-Kansai)  
中国側：広東省科技合作研究促進中心

日立製作所と華南理工大学によるスマート製造についての共同研究契約の締結  
(关于智能化制造的共同研究合同)  
日本側：株式会社日立製作所、日立(中国)研究開発有限公司  
中国側：華南理工大学

小型化可搬型リチウム電池によるタワーソリューション(タワーソリューションと蓄電ソリューション)の協力に関する覚書締結  
(关于小型化可搬型锂电池的移动通信基站系统(基站系统与蓄电的解决方案)合作协议)  
日本側：パナソニックチャイナ有限公司  
中国側：松盛環境科技有限公司、北京聯動天翼科技股分有限公司、中国標準化研究院

日本環境管理と唐山華順環保科技有限公司のオゾン高濃度溶解水処理についての技術協力プロジェクト  
(绿色高効水体处理技術合作項目)  
日本側：株式会社日本環境管理  
中国側：唐山華順環保科技有限公司

カーバイド炉からの溶融カーバイドの鍋搬送技術(RAC system : Run Around Carrier system)の中国への技術協力および技術許諾の契約締結  
(从电石炉出来的熔融电石的锅搬运技术(RAC system : Run Around Carrier system) 向中国的技术协力及技术转让的协议签订)  
日本側：デンカ株式会社  
中国側：中化国際(控股)股份有限公司

上海速宜環境科技有限公司(北九州環境投資有限公司)と煙台市環境科学学会による土壌地下水修復技術に係る研究開発及び人材育成に関するパートナーシップ契約  
(在土壤及地下水修复技术和对策的研发以及人才培养签署合作协议)  
日本側：上海速宜環境科技有限公司(北九州環境投資有限公司)  
中国側：煙台市環境科学学会

エネルギー環境グローバルコンソーシアムと江蘇省沛県人民政府による江蘇省沛県企業誘致協力プロジェクト  
(节能环保国际促进会与中国江苏省沛县人民政府招商合作项目)  
日本側：一般社団法人エネルギー環境グローバルコンソーシアム  
中国側：江蘇省沛県人民政府

国家級滄州臨港經濟技術開發区に於ける環境改善・省エネプロジェクト推進のための合意  
(在国家级沧州开发区的, 为推进新建污水处理厂建设项目的合作协议)  
日本側：上海清環環保科技有限公司、統一能科建築安裝(上海)有限公司、旭化成株式会社  
中国側：国家級滄州臨港經濟技術開發区管理委員会

楽しい株式会社と河北誠潤環保工程有限公司との環境ビジネス推進にかかる覚書の締結  
(签署共同推进开展环保业务合作协议书)  
日本側：楽しい株式会社  
中国側：河北誠潤環保工程有限公司

日立造船と上海泰欣環境工程股份有限公司(STC社)の「湿式洗煙技術のライセンス供与」についての契約書の締結  
(关于“湿法洗烟技术的技术转让合同”的签订)  
日本側：日立造船株式会社  
中国側：上海泰欣環境工程股份有限公司

東亜ディーケーケーと北京牡丹聯環環保科技股分有限公司との発生源VOC測定装置の技術協力及び販売提携に関する覚書締結  
(关于发生产源VOC检测设备技术合作和销售合作的备忘录签订)  
日本側：東亜ディーケーケー株式会社  
中国側：北京牡丹聯環環保科技股分有限公司

石炭エネルギーセンターと石炭科学技術研究院有限公司煤化工分院の石炭中有害元素及び低品位炭利用に関する共同技術研究開発・応用  
(关于煤炭中有害元素和低品位煤利用的共同技术研究开发、应用)  
日本側：一般財団法人 石炭エネルギーセンター  
中国側：石炭科学技術研究院有限公司煤化工分院

日立製作所と清華大学によるグリーンICTについての共同研究契約の締結  
(关于智能绿色信息通信技术的共同研究合同)  
日本側：株式会社日立製作所、日立(中国)研究開発有限公司  
中国側：清華大学

三菱商事(中国)有限公司と中国建材國際工程集团有限公司の環境・省エネ分野に関する戦略的協力協議書の締結  
(关于环保及节能领域缔结战略合作协议)  
日本側：三菱商事(中国)有限公司  
中国側：中国建材國際工程集团有限公司

富士電機(中国)有限公司と中国科学院重慶綠色智能技術研究院の四川盆地の多成分大気汚染粒子観測に関する共同研究  
(对于四川盆地高分辨率大气颗粒物成分观测进行合作研究)  
日本側：富士電機(中国)有限公司  
中国側：中国科学院重慶綠色智能技術研究院

中国科学院広州能源研究所、中山市中能熱能有限公司、住友電氣工業株式会社の工業園区スマートエネルギー管理プラットフォーム重要技術モデルプロジェクトに関する覚書締結  
(关于工业园区智慧能源管理平台关键技术与工程示范的备忘录签订)  
日本側：住友電氣工業株式会社  
中国側：中国科学院広州能源研究所、中山市中能熱能有限公司

日立製作所、日立(中国)有限公司、日立産機系統(中国)有限公司と蘇州太谷電力股份有限公司とのDSM-PF(電力需要側管理システムプラットフォーム)における省エネサービス提供に関する協力覚書  
(DSM-PF(电力需求侧管理系统平台)提供节能服务的相关合作备忘录)  
日本側：株式会社日立製作所、日立(中国)有限公司、日立産機系統(中国)有限公司  
中国側：蘇州太谷電力股份有限公司

堀場製作所と北京城市排水集團有限責任公司科技研究中心との排水処理におけるアンモニア計測における省エネモデルの検討に関する覚書締結  
(关于研究排水处理氨检测节能示范的备忘录签订)  
日本側：株式会社堀場製作所  
中国側：北京城市排水集團有限責任公司科技研究中心

日立製作所、日立(中国)有限公司、中国能源建設集團湖南省電力設計院有限公司とのコージェネレーションシステム導入に関する事業推進協力協定書の締結  
(有关热电联产战略合作的框架协议)  
日本側：日立製作所、日立(中国)有限公司  
中国側：中国能源建設集團湖南省電力設計院有限公司

東亜ディーケーケーと重慶川儀自動化股分有限公司との高感度大気測定装置共同開発及び販売に向けた提携に関する覚書締結  
(关于共同开发高感度大气检测设备及销售合作的备忘录签订)  
日本側：東亜ディーケーケー株式会社  
中国側：重慶川儀自動化股分有限公司

古河産機システムズと富士電機(中国)有限公司と中鋁山東工程技術有限公司の「乾式電氣集塵機における協業基本合意書」に基づく、メタルメッシュ式乾式電氣集塵機の導入  
(依据三方签订的“干式静电除尘器合作框架协议”, 签订静电除尘器的合约)  
日本側：古河産機システムズ株式会社、富士電機(中国)有限公司  
中国側：中鋁山東工程技術有限公司

日立造船と中国科学院瀋陽応用生態研究所(IAE)と瀋陽上林環保科技有限公司(SL社)の「農畜産廢棄物処理に関する事業化可能性調査」に関する合意書の締結  
(关于“农畜废弃物处理的商业化可能性调查”的协议书签订)  
日本側：日立造船株式会社  
中国側：中国科学院瀋陽応用生態研究所、瀋陽上林環保科技有限公司

「同済國際綠色産業創新中心」設立の為の同済大学綠色建築及新能源研究中心、同済大学国家大学科技园と日資企業節能環保推進研究会との業務協力に関する覚書締結  
(为了设立同济国际绿色产业创新中心的合作协议签订)  
日本側：日資企業節能環保推進研究会  
中国側：同済大学綠色建築及新能源研究中心、同済大学国家大学科技园

オプテックス、佛山早稻田科技服務有限公司、佛山瑞贏科技有限公司の「高効率水質測定システムの中国への導入」における覚書締結  
(关于“高效水质检测分析技术项目”的备忘录签订)  
日本側：オプテックス株式会社  
中国側：佛山早稻田科技服務有限公司、佛山瑞贏科技有限公司

上海速宜環境科技有限公司と煙台藍天環境資產管理有限公司の土壌(環境)修復技術に係る戦略的連携に関する覚書  
(关于土壤(环境)修复科技战略合作的备忘录)  
日本側：上海速宜環境科技有限公司(北九州環境投資有限公司)  
中国側：煙台藍天環境資產管理有限公司

石炭エネルギーセンターと中国電力企業聯合会の中国石炭火力発電所の環境対策に関する協議書  
(关于中国煤炭火力发电站的环境对策协议)  
日本側：一般財団法人 石炭エネルギーセンター  
中国側：中国電力企業聯合会

第1～10回フォーラムにおいて合意された日中協力プロジェクト(313件)は、日中経済協会ウェブサイトにて閲覧可能です。

☞ <http://www.jc-web.or.jp/>

